セキュアファイアウォールにおけるソフトウェアトレースバック/クラッシュの根本原因分析のためのデータ収集

内容

はじめに

このドキュメントでは、ソフトウェアトレースバックの場合にデータを収集する手順について説明します。

前提条件

要件

製品の基礎知識

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- セキュアファイアウォール1200、3100、4200
- Firepower 1000、4100、9300

- Cisco Secure eXtensible Operating System(FXOS)2.16(0.136)
- Cisco Secure Firewall Threat Defense(FTD)7.6.1.291
- Cisco Secure Firewall Management Center(FMC)7.6.1.291
- 適応型セキュリティアプライアンス(ASA)9.22.2.9

背景

FTDまたはASAソフトウェアはトレースバックを行うことができ、通常は次のようなさまざまな理由でリロードが発生します。

- オペレーティングシステムおよびサードパーティコンポーネントの不具合を含むソフトウェア不具合。
- ハードウェアの例外（低レベルメモリやCPUエラーなど）。
- 場合によっては、メモリなどのシステムリソースの不足が原因です。
- TACの監督下で診断目的のためにユーザによって手動でトリガーされる。

```
<#root>

>

system support diagnostic-cli


Attaching to Diagnostic CLI ... Press 'Ctrl+a then d' to detach.
Type help or '?' for a list of available commands.

firepower>

enable


Password:
firepower#

crashinfo force ?


page-faultc  Crash by causing a page fault exception
process     Crash the specified process
watchdog    Crash by causing a watchdog timeout
```

クラッシュとも呼ばれるトレースバックの場合、プロセスに応じて、通常はcrashinfo、core、またはminidump filesファイルが生成されます。

- crashinfoには、プロセスメモリからの最小限の診断データが含まれています。
- コアファイルは、トレースバック時のプロセスメモリの完全なダンプです。
- minidump ファイルはSnort3専用で、プロセスメモリからの診断データが含まれています。

Secure Firewallソフトウェアでは、トレースバックが発生したプロセスは次のコンポーネントのいずれかに含まれる可能性があります。

- Firepower 1000、2100、4100、9300、セキュアファイアウォール1200、3100、4200シャ

ーシ
- Firepower 4100、9300セキュリティモジュール

コアおよびcrashinfoファイルとは別に、トレースバックの根本原因分析(RCA)には、トラブルシューティングとshow-techファイル、syslogメッセージなどの追加情報が必要です。

コアおよびcrashfinfoファイルの分析は、サービスリクエスト（ケース）の一部としてTACとシスコによって処理されます。

データ収集

トレースバックのRCAに必要なデータを収集するには、次の手順を実行します。ファイルのローテーションによりデータが失われる恐れがありますので、できるだけ早く要求されたデータを提供してください。

1. 次の項目を明確にします。

1a.正確なハードウェア。

1b.ソフトウェアのバージョン.

1c.セキュアファイアウォールソフトウェアのタイプ（ASAまたはFTD）。

1d。導入モード（ネイティブモードまたはマルチインスタンスモード）。

詳細な確認手順については、『Firepowerソフトウェアバージョンの確認』および『Firepower、インスタンス、可用性、スケーラビリティ設定の確認』を参照してください。

2. 次のような最近の環境変化があったかどうかを明らかにします。

2a.トラフィックの追加

2b.コマンドを含む主な設定変更

タイムスタンプとタイムゾーンはできるだけ正確に含めてください。

3. 特定のコマンドを使用した設定変更後にトレースバックが発生した場合、ターミナルセッションの出力を収集します。ASAでコマンド許可が設定されている場合は、Identity Services Engine(ISE)などのリモートサーバからコマンド許可レポートを収集します。

4. 次の手順では、crashinfo、core、またはminidumpファイルに最新のタイムスタンプが記録されていることを確認し、各ファイルへの完全なパスを書き留めます。「セキュアファイアウォールからCrashinfo、コアダンプ、およびミニダンプファイルを収集する方法」セクションに示されているように、ファイルを収集するにはフルパスが必要です。

ASA

4.1. crashinfoファイルの存在の確認 最新のcrashinfoを表示するには、show crashinfoコマンドを実行します。crashinfoファイルは、dirコマンドの出力にあります。

<#root>

asa#

dir

Directory of disk0:/
…
1610891723 -rw- 413363   20:51:22 Aug 13 2025

crashinfo_lina.14664.20250813.205102

4.2. dir coredumpfsysコマンドを使用して、ASAコアファイルが存在することを確認する。

<#root>

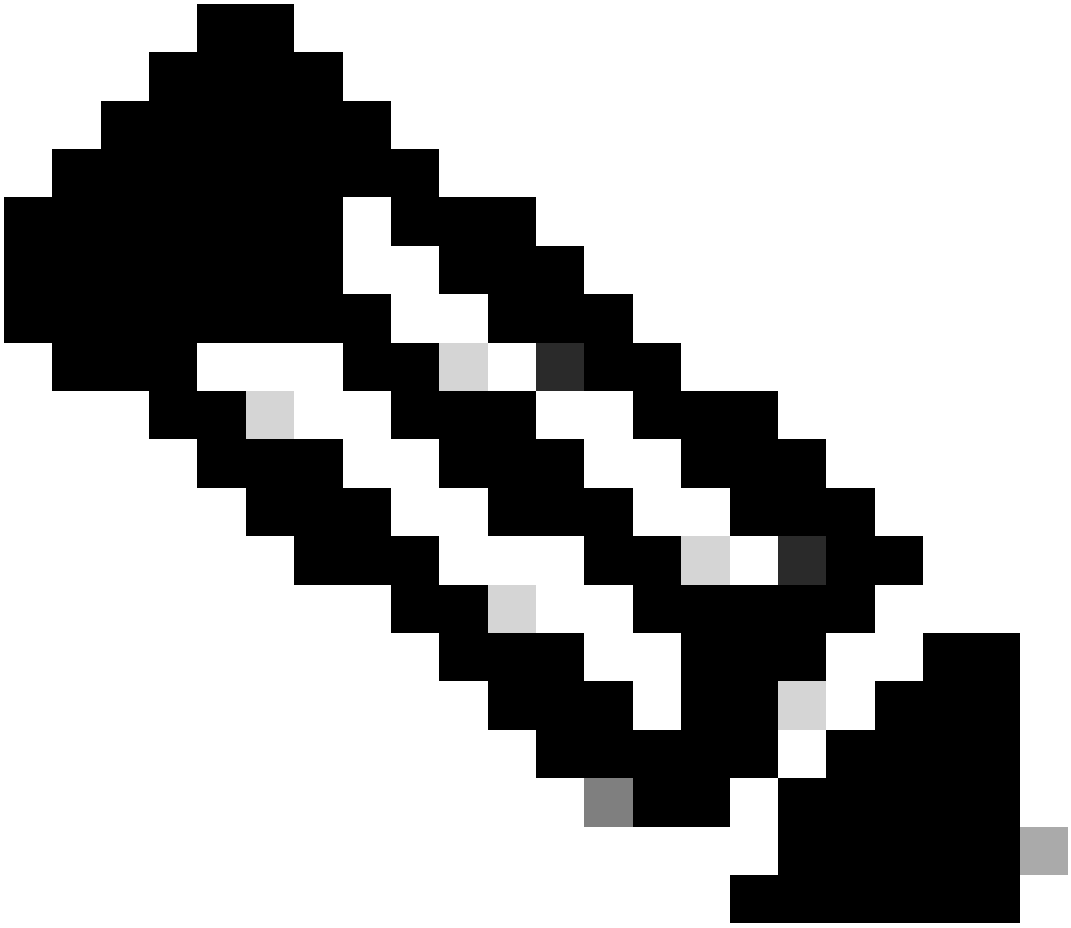
asa#

dir coredumpfsys

Directory of disk0:/coredumpfsys/
24577 -rw- 419619286   12:43:07 Aug 04 2025

core.lina.11.10335.1754311379.gz

11   drwx 16384   00:15:57 Jan 01 2010 lost+found



注：仮想ASAでは、コアダンプ機能はデフォルトで無効になっています。

<#root>

ciscoasa#

show coredump

filesystem 'disk0:' has no coredump filesystem

コアダンプ機能を有効にするには、『Cisco Secure Firewall ASAシリーズコマンドリファレンス、A-Hコマンド』の「coredump enable」セクションを参照してください。

FTD

4.1. FTD crashinfoファイルの存在の確認 最新のcrashinfoを表示するには、show crashinfoコマンドを実行します。crashinfoファイルは、dirコマンドの出力にあります。

<#root>

ftd#

dir

Directory of disk0:/
…
1610891723 -rw- 413363   20:51:22 Aug 13 2025

crashinfo_lina.14664.20250813.205102

FTDでは、crashinfoファイルはエキスパートモードの/mnt/disk0/ディレクトリにあります。

<#root>

>

expert

admin@firepower:~$

ls -l /mnt/disk0/

total 496472
..
-rw-r--r-- 1 root root   460812 Aug 13 10:31

crashinfo_lina.13050.20250813.103059

FTDトラブルシューティングファイルでは、crashinfoファイルはdir-archives/var-log/mnt-disk0/:にあります。

<#root>

$

ls -l

/dir-archives/mnt-disk0

total 9456
-rw-r--r-- 1 root root 453024 Aug 8 23:51

crashinfo_lina.13949.20250808.235100

4.2. FTDコアファイルの存在の確認FTDでは、expertモードの/ngfw/var/data/cores/および/ngfw/var/common/ディレクトリでコアファイルにアクセスできます。

<#root>

admin@ftd:~$

ls -l /ngfw/var/data/cores/

total 1255512
-rw-r--r-- 1 root root 602208441 Jul 24 09:28

core.lina.11.14993.1753342057.gz

-rw-r--r-- 1 root root 682148808 Jul 24 09:38

core.lina.11.80997.1753342659.gz

FTDのトラブルシューティングファイルでは、コアファイルの名前はcommand-outputs/for\ CORE\ in\ \'ls\ *:

<#root>

command-outputs $

cat for\ CORE\ in\ \`ls\ *

/var/data/cores/core.lina.11.38967.1732272744.gz: gzip compressed data, was "core.lina.11.38967.1732272

FTD Snort3固有のコアダンプ

このセクションは、Snort3エンジンを実行するFTDにのみ適用されます。

4.1. Snort3エンジンのクラッシュ情報ファイル(snort3-crashinfo.*)がエキスパートモードの/ngfw/var/log/crashinfo/ディレクトリに存在することを確認する。

<#root>

admin@ftd$

ls -l /ngfw/var/log/crashinfo

total 8
-rw-r--r-- 1 root root 1104 Aug 22 19:10

snort3-crashinfo.1755889806.134825

```
-rw-r--r-- 1 root root 1104 Aug 22 19:15
```

snort3-crashinfo.1755890128.201213

FTDのトラブルシューティングファイルでは、dir-archives/var-log/crashinfo/に同じファイルがあります。

4.2. Snort3ミニダンプファイルminidump_*が/ngfw/var/data/core/に存在することを確認する

<#root>

```
admin@firepower:~$
```

ls -l /ngfw/var/data/cores/

```
total 936580
-rw------- 1 root root    977760 Aug 22 19:10
```

minidump_1755889805_firepower_snort3_17455.dmp

FTDのトラブルシューティングファイルでは、ミニダンプファイルはfile-contents/ngfw/var/data/cores/:

<#root>

```
$
```

ls -l file-contents/ngfw/var/data/cores/

```
total 1904
-rw------- 1 root root 977760 Aug 22 19:10
```

minidump_1755889805_firepower_snort3_17455.dmp

Firepower 4100および9300セキュリティモジュール

このセクションは、Firepower 4100および9300モジュールにのみ適用されます。

4.1. crashinfoファイルとコアファイルがあることを確認する

<#root>

```
firepower #
```

connect module 1 console

```
Firepower-module1>
```

support filelist

```
============================
Directory: /
Downloads_Directory
CSP_Downloaded_Files
Archive_Files
```

Crashinfo_and_Core_Files

```
Boot_Files
ApplicationLogs
Transient_Core_Files

Type a sub-dir name to list its contents, or [x] to Exit:
```

Crashinfo_and_Core_Files

```
----------sub-dirs----------
lost+found
-----------files------------
2025-08-04 14:43:07 | 419619286  | core.lina.11.10335.1754311379.gz
2025-08-13 12:45:11 | 419798152  | core.lina.11.10466.1755081904.gz
2025-08-14 13:35:02 | 419449591  | core.lina.11.46717.1755171295.gz
2025-08-18 12:48:26 | 419624883  | core.lina.6.10412.1755514099.gz
([b] to go back)
…
```

FXOS

4.1 Firepower 1000、2100およびSecure Firewall 1200、3100、4200シャーシで、local-mgmtシェルでdir workspace:/coresコマンドとdir workspace:/cores_fxosコマンドを使用してコアファイルの存在を確認します。

ASAアプリケーションがインストールされている場合は、connect fxos adminコマンドを使用してFXOSシェルに接続します。

<#root>

```
firepower-1120#
```

connect local-mgmt

```
Warning: network service is not available when entering 'connect local-mgmt'

firepower-1120(local-mgmt)#
```

dir workspace:/cores

```
1 119710270 Jul 25 11:41:12 2025

core.lina.6.19811.1753443666.gz


2     16384 Jul 22 21:13:57 2025 lost+found/
3      4096 Jul 22 21:16:07 2025 sysdebug/

Usage for workspace://
159926181888 bytes total
5545205760 bytes used
154380976128 bytes free

firepower-1120(local-mgmt)#

dir workspace:/cores_fxos


1 9037 Jul 25 10:52:17 2025 kp_init.log
```

コアファイルは、シャーシのトラブルシューティングファイルの /opt/cisco/platform/logs/prune_cores.logファイルでも説明されています。

```
<#root>

$

less opt/cisco/platform/logs/prune_cores.log


Fri Jul 25 11:41:31 UTC 2025 -  Avoiding compress/move for for ./core.lina.6.19811.1753443666: UptimeIn
Fri Jul 25 11:42:32 UTC 2025 -  Number of pre-compressed core file : 0
Fri Jul 25 11:42:32 UTC 2025 -

Uncompressed file ./core.lina.6.19811.1753443666: uptimeInSec: 3141; SafeIntval:45; Timestamp Diff: 80;
```

4.2. Firepower 4100および9300シャーシで、local-mgmtシェルのdir workspace:/coresコマンドを使用してコアファイルの存在を確認します。

```
<#root>

firewall(local-mgmt)#

dir workspace:/cores


Usage for workspace://
4160421888 bytes total
461549568 bytes used
3484127232 bytes free
```

コアファイル名は、シャーシのトラブルシューティングファイルの内部で、ファイル

*_BC1_all/FPRM_A_TechSupport/sw_techsupportinfoのshow coresコマンドの出力に含まれます。*はトラブルシューティングファイル名の一部です(例：20250311123356_ FW_BC1_all.tar)。

5. crashinfo、coredump、およびminidumpファイルがインシデントに関連しているかどうかを確認します。

- ファイルのタイムスタンプとインシデントのタイムスタンプを比較する。または、
- Linuxのdateコマンドを使用して、エポックタイムスタンプをファイル名から日付に変換します。

coreファイルとminidumpファイルの場合は、任意のLinuxホストでdateを使用することにより、エポックタイムスタンプを日時に変換できます。

<#root>

admin@ftd:~$

ls -l /ngfw/var/data/cores/

total 1255512
-rw-r--r-- 1 root root 602208441 Jul 24 09:28 core.lina.11.14993

.1753342057.

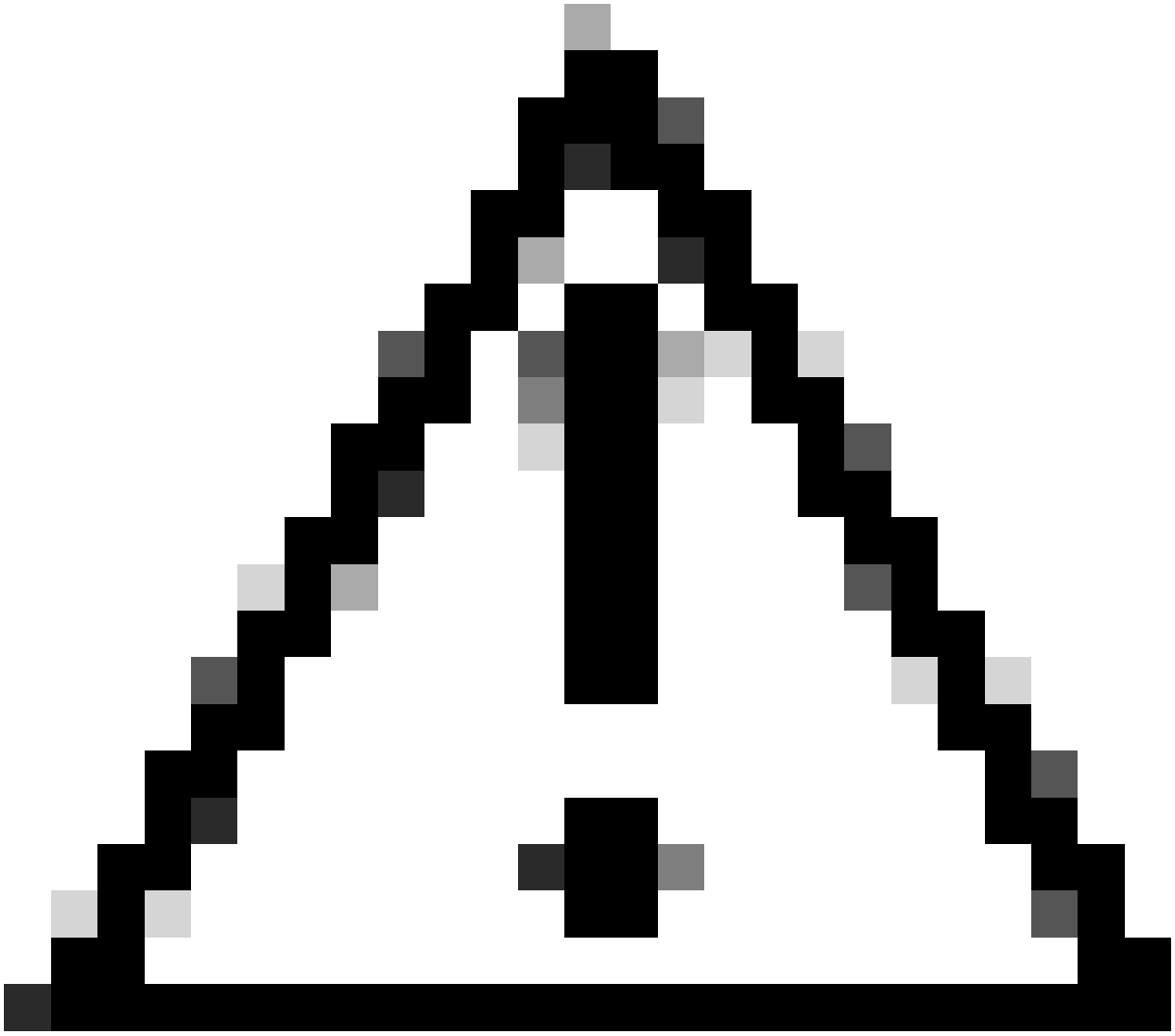
gz

linux $

date -d @1753342057

Thu Jul 24 07:27:37 UTC 2025

6. ステップ4 ~ 5のcrashinfo、ミニダンプ、コアファイルをダウンロードするには、「セキュアファイアウォールからCrashinfo、コアダンプ、およびミニダンプファイルを収集する方法」セクションを参照してください。



注意:core、crashinfo、またはminidumpファイルの名前は変更しないでください。

7.「Firepowerファイル生成手順のトラブルシューティング」の手順に従ってshow-techを収集し、ファイルのトラブルシューティングを行います。

7a。ASAのshow-techファイル。

7b。FTDトラブルシューティングファイル。

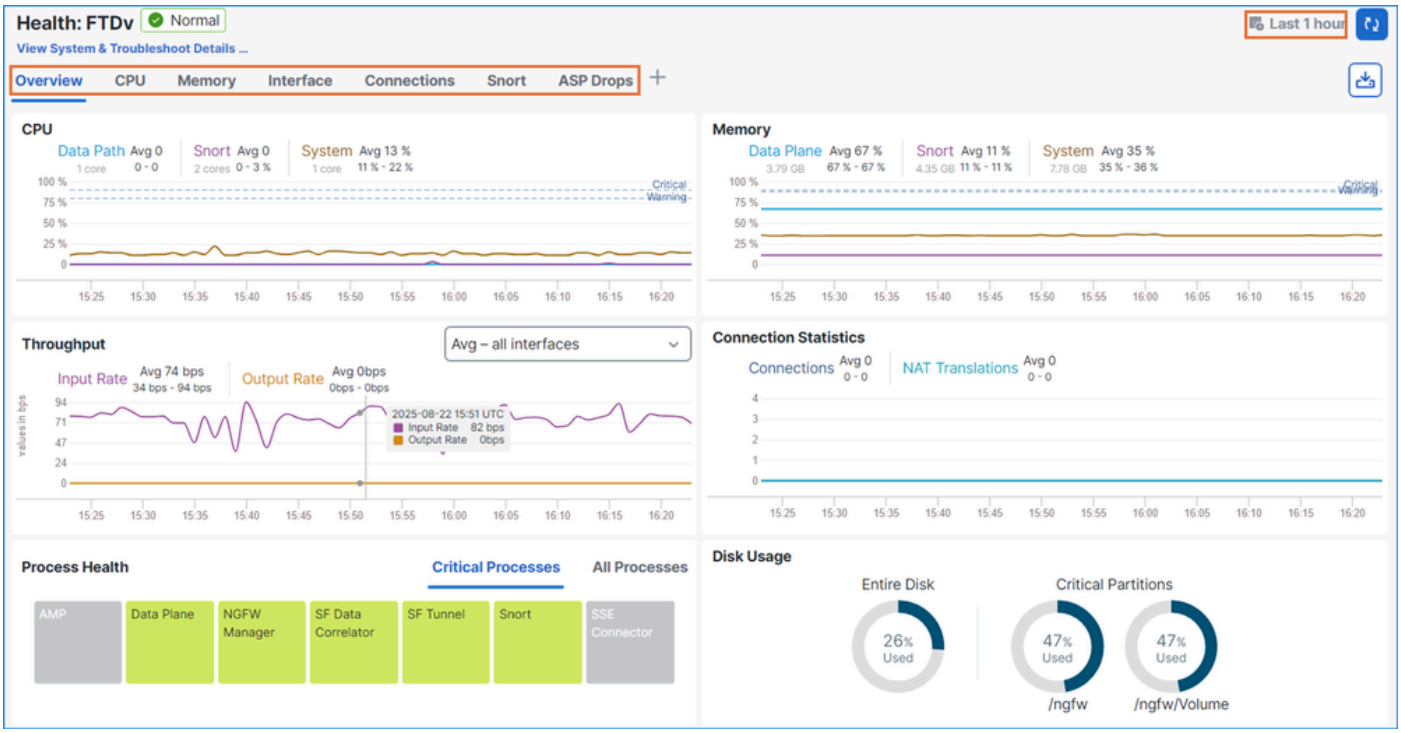
7c.Firepower 4100および9300セキュリティモジュールのshow-techファイル

7d。Firepower 4100および9300シャーシshow-techファイル

7e。Firepower 1000、2100およびSecure Firewall 1200、3100、4200シャーシのshow-techファイル。コンテナモードのセキュアファイアウォール3100および4200のシャーシのトラブルシューティングファイルは、FMC > Devices > [chassis] > 3 dots > Troubleshoot Filesオプションを使用してダウンロードできます。

8. FTDの場合は、トレースバックの30分前までのFMCのヘルスモニタリングタブのスクリーンショットを収集します。 強調表示されているすべてのタブのスクリーンショットを必ず含めてください。 繰り返しトレースバックが発生する場合は、いくつかのインシデントをカバーするスクリーンショットを収集します。

さらに、ハイアベイラビリティとクラスタリングの場合は、影響を受けるすべてのユニットのスクリーンショットを収集します。



9. トレースバックの少なくとも30分前をカバーするsyslogサーバから、raw（未解析）Linaエンジンsyslogメッセージを収集します。TACおよびエンジニアリングツールによる内部処理には、Raw形式が不可欠です。

繰り返しトレースバックが発生する場合は、いくつかのインシデントをカバーする未加工のメッセージを収集します。 さらに、ハイアベイラビリティとクラスタリングの場合は、影響を受けるすべてのユニットからraw syslogを収集します。

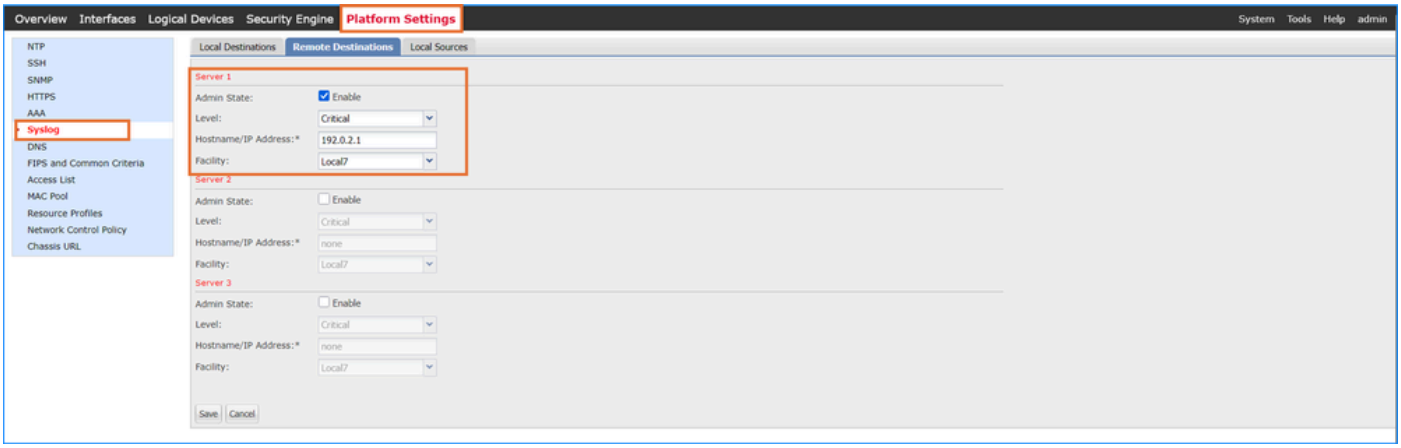
ASA/FTD CLIでの確認：

```
<#root>

ftd#

show run logging


logging enable
logging trap informational
logging host inside

192.0.2.1

<-- syslog server address
```

10. Firepower 4100および9300の場合、トレースバックの少なくとも10分前に、syslogサーバからraw（未解析）FXOSメッセージを収集します。TACおよびエンジニアリングツールによる内部処理には、Raw形式が不可欠です。

さらに、ハイアベイラビリティとクラスタリングの場合は、影響を受けるすべてのシャーシからraw syslogを収集します。

Firepower Chassis Manager(FCM)ユーザインターフェイス(UI)での検証：



FXOS CLIでの確認：

<#root>

```
firepower #
```

scope monitoring

```
firepower /monitoring #
```

show syslog

```
console
    state: Disabled
    level: Critical

monitor
    state: Disabled
    level: Critical

file
    state: Enabled
    level: Critical
    name:  messages
    size:  4194304

remote destinations
    Name     Hostname             State    Level         Facility
    -------- -------------------- -------- ------------- --------
```

Server 1 192.0.2.1 Enabled Critical Local7

```
<-- syslog server address
```

```
    Server 2 none                Disabled Critical      Local7
    Server 3 none                Disabled Critical      Local7

sources
    faults: Enabled
    audits: Disabled
    events: Disabled
```

11. 設定したSNMPサーバから、ASAまたはFTDのCPU、メモリ、トラップを含むインターフェイスデータを収集します。トレースバックの少なくとも30分前のデータを含めてください。

繰り返しトレースバックが発生する場合は、いくつかのインシデントをカバーする未加工のメッセージを収集します。さらに、高可用性とクラスタリングの場合は、影響を受けるすべてのシャーシからrawメッセージを収集します。

ASA/FTD CLIでの確認：

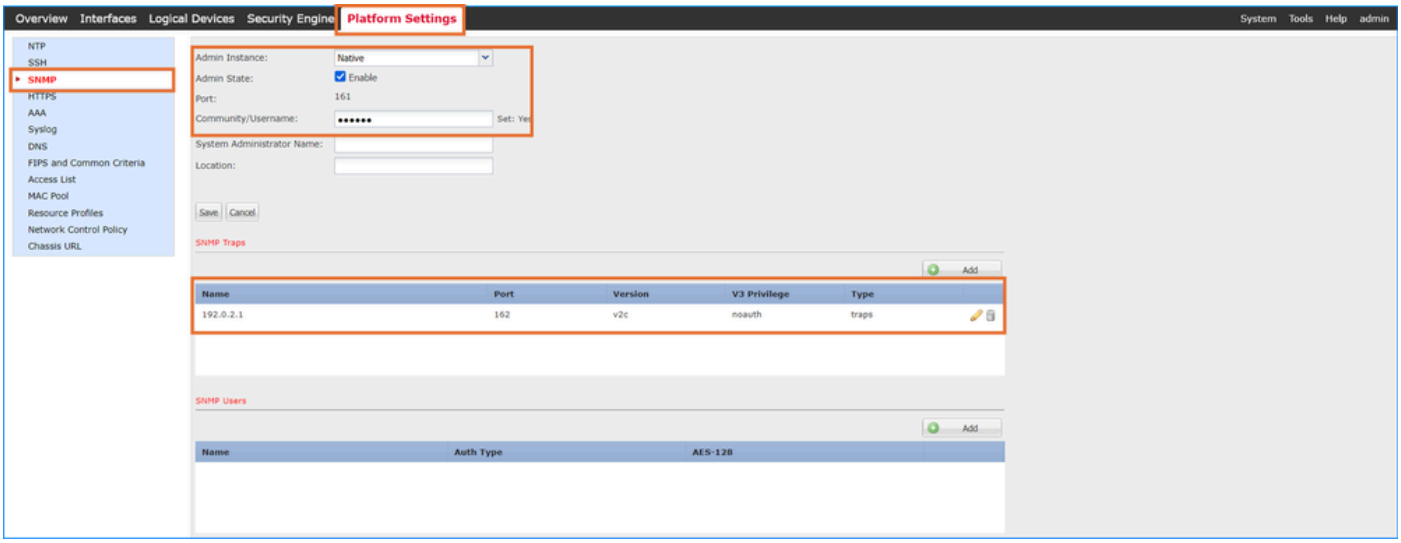
<#root>

```
ftd#

show run snmp-server


snmp-server host inside 192.0.2.1 community ***** version 2c

<-- SNMP server addresses

snmp-server host inside 192.0.2.2 community ***** version 2c


no snmp-server location
no snmp-server contact
```

12. Firepower 4100および9300の場合、設定されたSNMPサーバからCPU、メモリ、トラップを含むインターフェイスデータを収集します。トレースバックの少なくとも30分前のデータを含めてください。

繰り返しトレースバックが発生する場合は、いくつかのインシデントをカバーする未加工のメッセージを収集します。 さらに、高可用性とクラスタリングの場合は、影響を受けるすべてのシャーシからrawメッセージを収集します。

FCM UIでの検証：



FXOS CLIでの確認：

<#root>

```
firepower #
```

scope monitoring

```
firepower /monitoring #
```

show configuration

```
 …
     enable snmp


     enter snmp-trap 192.0.2.1
<-- SNMP server address
 !        set community
          set notificationtype traps
          set port 162
          set v3privilege noauth
          set version v2c
```

13. NetFlowコレクタからトラフィックプロファイルを収集します。トレースバックの少なくとも30分前のデータを含めてください。

トレースバックを繰り返す場合は、いくつかのインシデントをカバーするデータを収集します。さらに、高可用性とクラスタリングの場合は、影響を受けるすべてのシャーシからデータを収集します。

ASA/FTD CLIでの確認：

<#root>

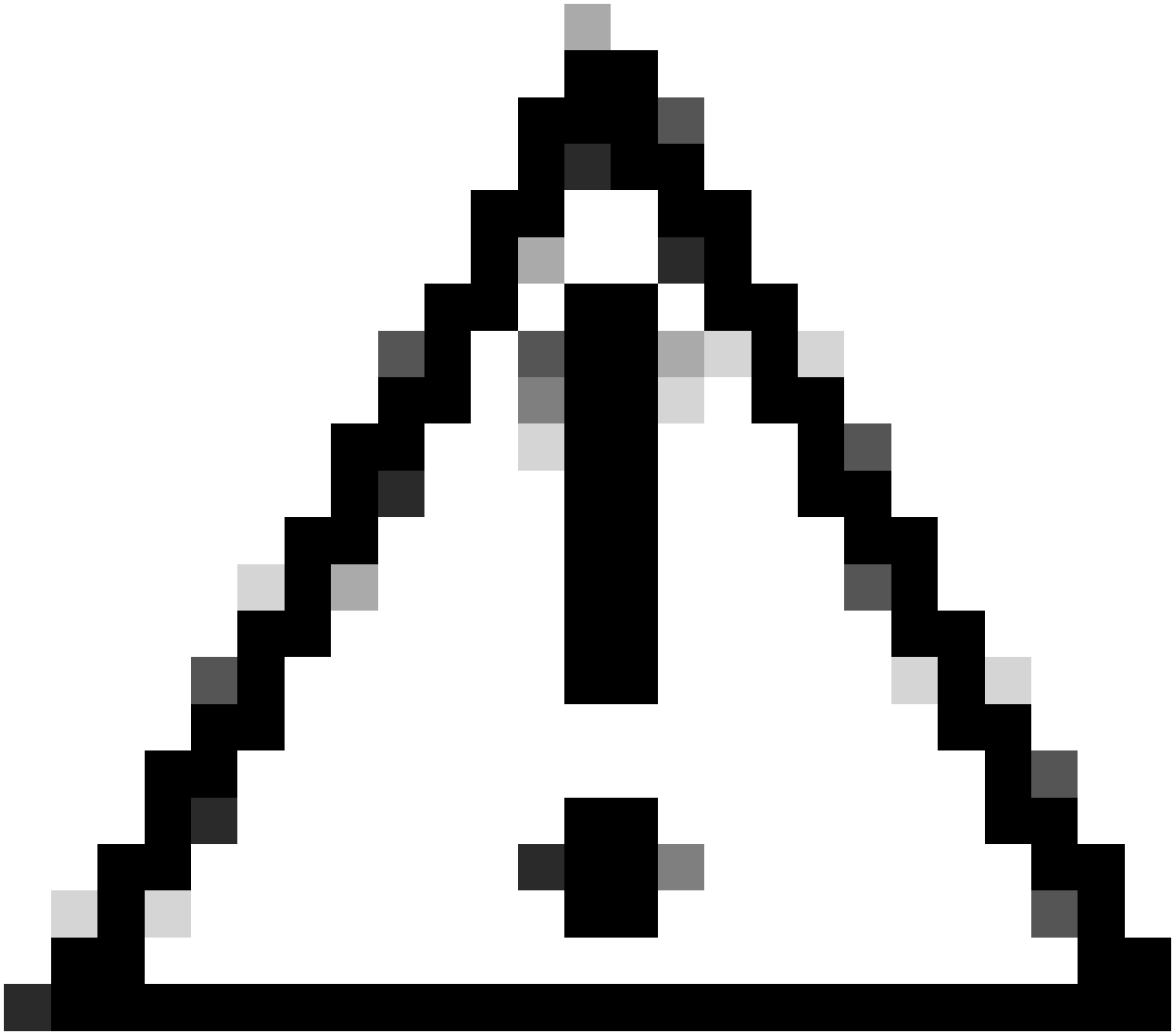
```
ftd#
show run flow-export


flow-export destination inside 192.0.2.1 1255
<-- Netflow collector address
flow-export delay flow-create 1


ftd#
show run policy-map global_policy


!
policy-map global_policy
 class inspection_default
  inspect dns preset_dns_map
  inspect ftp
  inspect h323 h225
  inspect h323 ras
  inspect rsh
  inspect rtsp
  inspect sqlnet
  inspect skinny
  inspect sunrpc
  inspect sip
  inspect netbios
  inspect tftp
  inspect icmp
  inspect icmp error
  inspect ip-options UM_STATIC_IP_OPTIONS_MAP


class netflow


  flow-export event-type all destination 192.0.2.1
<-- Netflow collector address
  class class-default
  set connection advanced-options UM_STATIC_TCP_MAP
```

14. トレースバックが繰り返し発生する場合は、コンソールセッションの出力を収集します。

15. TACケースをオープンし、すべてのデータを提供します。

セキュアファイアウォールからCrashinfo、コアダンプ、およびミニダンプファイルを収集する方法

セキュアファイアウォールからcrashinfo、coredump、およびminidump Filesを作成するには、次の手順に従います。



注意：警告：コア、crashinfo、またはミニダンプファイルの名前を変更しないでください。

ASA

ASA CLIからリモートサーバにファイルをアップロードします。

<#root>

ASA#

copy flash:/crashinfo_lina.14664.20250813.205102 ?

```
  cluster:        Copy to cluster: file system
  disk0:          Copy to disk0: file system
  flash:          Copy to flash: file system
  ftp:            Copy to ftp: file system
  running-config  Update (merge with) current system configuration
```

```
  scp:            Copy to scp: file system
  smb:            Copy to smb: file system
  startup-config  Copy to startup configuration
  system:         Copy to system: file system
  tftp:           Copy to tftp: file system
```

FTD

オプション1:Lina CLIを使用してファイルを収集する

1. Linaエンジンからリモートサーバに到達可能な場合は、ファイルを/mnt/disk0にコピーし、Lina CLIからファイルをアップロードします。

```
<#root>

>

expert


admin@firepower:~$

ls -l /ngfw/var/data/cores/


total 928152
-rw-r--r-- 1 root root 500163689 Aug 13 10:30

core.lina.11.13050.1755081050.gz


-rw-r--r-- 1 root root 449295230 Aug 13 20:51 core.lina.11.14664.1755118254.gz
drwx------ 2 root root     16384 Aug 10 20:59 lost+found
drwxr-xr-x 3 root root      4096 Aug 10 21:01 sysdebug

admin@firepower:~$

sudo cp /ngfw/var/data/cores/core.lina.11.13050.1755081050.gz /mnt/disk0/

admin@firepower:~$

 exit



>

system support diagnostic-cli


Attaching to Diagnostic CLI ... Press 'Ctrl+a then d' to detach.
Type help or '?' for a list of available commands.
firepower>

enable


Password:
firepower#

dir
```

```
Directory of disk0:/
…
1610612928  -rw-  500163689    17:00:13 Aug 22 2025

core.lina.11.13050.1755081050.gz


firepower#

copy disk0:/core.lina.11.13050.1755081050.gz ?


  cache:    Copy to cache: file system
  cluster:  Copy to cluster: file system
  disk0:    Copy to disk0: file system
  disk1:    Copy to disk1: file system
  flash:    Copy to flash: file system
  ftp:      Copy to ftp: file system
  scp:      Copy to scp: file system
  smb:      Copy to smb: file system
  system:   Copy to system: file system
  tftp:     Copy to tftp: file system
```

2. リモートサーバからファイルをダウンロードしたら、コピーしたファイルをFTDの/mnt/disk0/から削除します。

```
<#root>

admin@firepower:~$

cd /mnt/disk0/


admin@firepower:/mnt/disk0/:$

 sudo rm core.lina.11.13050.1755081050.gz
```

オプション2：エキスパートモードCLIを使用してファイルを収集する

LinuxのTFTP、SFTP、またはSCTPクライアントを使用して、エキスパートモードからリモートサーバにファイルをアップロードします。

```
<#root>

>

expert


admin@firepower:~$

cd /ngfw/var/data/cores/
```

```
admin@firepower:/ngfw/var/data/cores$
sudo sctp core.lina.11.13050.1755081050.gz admin@192.0.2.1:/

admin@firepower:/ngfw/var/data/cores$
sudo tftp -l core.lina.11.13050.1755081050.gz -r core.lina.11.13050.1755081050.gz -p 192.0.2.1
```

オプション3 - FXOS local-mgmt CLIを使用してファイルを収集する

Firepower 1000、2100およびSecure Firewall 1200、3100、4200の各シャーシで実行されているネイティブモードのFTDで、コアおよびミニダンプファイルをFXOSのローカル管理CLIから収集できます。

```
<#root>
firepower#
connect local-mgmt

firepower(local-mgmt)#
dir workspace:/cores

1 500163689 Aug 13 10:30:59 2025
core.lina.11.13050.1755081050.gz


firepower(local-mgmt)#
copy workspace:/core.lina.11.13050.1755081050.gz


?


  ftp:        Dest File URI
  http:       Dest File URI
  https:      Dest File URI
  scp:        Dest File URI
  sftp:       Dest File URI
  tftp:       Dest File URI
  usbdrive:   Dest File URI
  volatile:   Dest File URI
  workspace:  Dest File URI
```

オプション4 - FMC UIを使用してファイルを収集する

/ngfw/var/commonにファイルをコピーします。

<#root>

>

expert

admin@firepower:~$

ls -l /ngfw/var/data/cores/

total 928152
-rw-r--r-- 1 root root 500163689 Aug 13 10:30

core.lina.11.13050.1755081050.gz

-rw-r--r-- 1 root root 449295230 Aug 13 20:51 core.lina.11.14664.1755118254.gz
drwx------ 2 root root 16384 Aug 10 20:59 lost+found
drwxr-xr-x 3 root root 4096 Aug 10 21:01 sysdebug

admin@firepower:~$

sudo cp /ngfw/var/data/cores/core.lina.11.13050.1755081050.gz /ngfw/var/common/

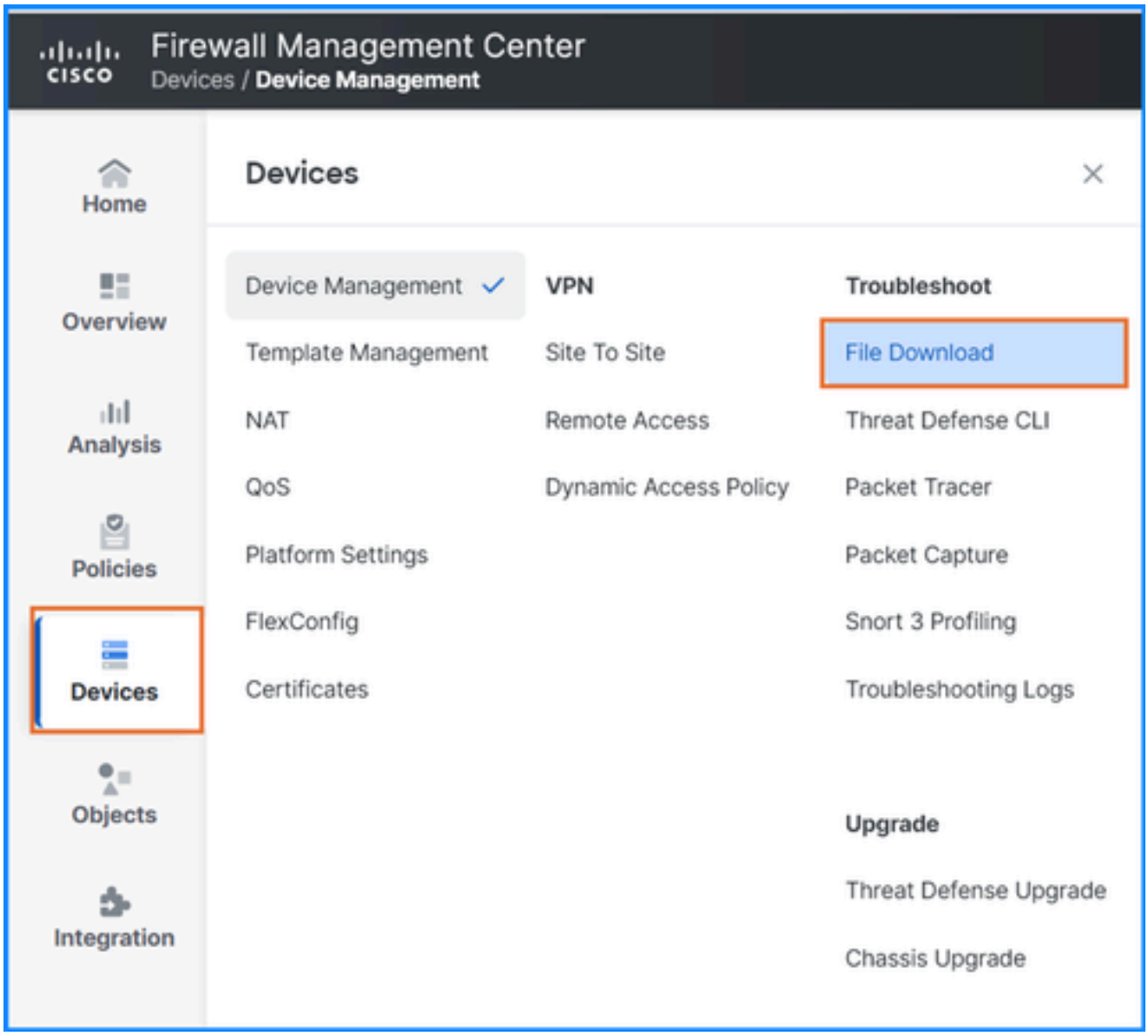
admin@firepower:~$

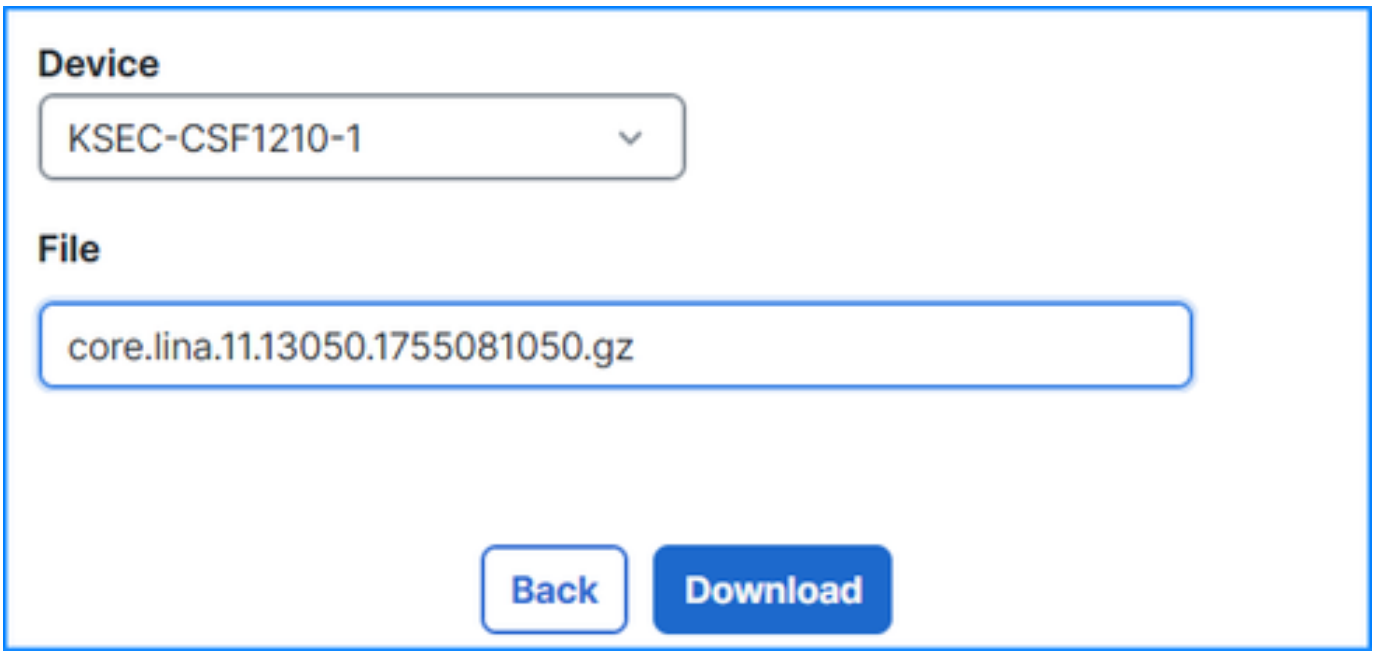
ls -l /ngfw/var/common/

total 928152
1610612928 -rw- 500163689 17:00:13 Aug 22 2025

core.lina.11.13050.1755081050.gz

2. Devices > File Downloadオプションを使用して、FMC UIからファイルをダウンロードします。





3. リモートサーバからファイルがダウンロードされたら、コピーされたファイルをFTDの

/ngfw/var/common/から削除します。

<#root>

```
admin@firepower:~$
```

cd

/ngfw/var/common/

```
admin@firepower:/mnt/disk0/:$
```

sudo rm core.lina.11.13050.1755081050.gz

Firepower 4100および9300セキュリティモジュール

1. モジュールに接続し、モジュールのshow-techファイルの一部としてコアとcrashinfoファイルを収集します。

<#root>

```
firepower #
```

connect module 1 console

```
Firepower-module1>
```

support diagnostic

```
======= Diagnostic =======
1. Create default diagnostic archive
2. Manually create diagnostic archive
3. Exit

Please enter your choice:
```

2

```
=== Manual Diagnostic ===
1. Add files to package
2. View files in package
3. Complete package
4. Exit.

Please enter your choice:
```

1

```
=== Add files to package | Manual Diagnostic ===
1. Platform Logs
```

```
2. Config Platform Logs
3. Crash Info files & Core dumps
4. Applications Logs
5. ASA Logs
b. Back to main menu

Please enter your choice:
```

3

```
----------sub-dirs----------
lost+found
-----------files------------
2025-08-04 12:43:07 | 419619286  |
```

core.lina.11.13050.1755081050.gz

```
([b] to go back or [m] for the menu or [s] to select files to add)
Type a sub-dir name to see its contents:
```

s

```
Type the partial name of the file to add ([*] for all, [<] to cancel)
>
```

core.lina.11.13050.1755081050.gz

```
core.lina.11.13050.1755081050.gz
Are you sure you want to add these files? (y/n)
```

y

```
=== Package Contents ===
[Added] core.lina.11.13050.1755081050.gz
========================
----------sub-dirs----------
lost+found
-----------files------------
2025-08-04 12:43:07 | 419619286  | core.lina.11.13050.1755081050.gz

([b] to go back or [m] for the menu or [s] to select files to add)
Type a sub-dir name to see its contents:
```

b

```
=== Manual Diagnostic ===
1. Add files to package
2. View files in package
3. Complete package
4. Exit.

Please enter your choice:
```

2

```
=== Package Contents ===
core.lina.11.13050.1755081050.gz
```

```
========================

=== Manual Diagnostic ===
1. Add files to package
2. View files in package
3. Complete package
4. Exit.

Please enter your choice:
```

3

```
Creating Manual archive
Added file: core.lina.11.13050.1755081050.gz
```

Created archive file Firepower-Module1_08_04_2025_13_17_50.tar

```
Firepower-module1>
```

support fileupload

```
Please choose from following:
================================
1. Archive Files
2. View selected files
3. Start upload and Exit
4. View transfer Status

Please choose from following:
================================
1. Archive Files
2. View selected files
3. Start upload and Exit
4. View transfer Status

Please enter your choice [x] to Exit:
```

1

```
-----------files------------
2025-08-04 13:17:50.723396 | 419624960  |
```

Firepower-Module1_08_04_2025_13_17_50.tar

```
([s] to select files or [x] to Exit):
```

s

```
Type the partial name of the file to add, [<] to cancel
>
```

Firepower-Module1_08_04_2025_13_17_50.tar

```
Firepower-Module1_08_04_2025_13_17_50.tar
Are you sure you want to add these files? (y/n)
```

y

```
=== Package Contents ===
[Added] Firepower-Module1_08_04_2025_13_17_50.tar
=========================

Type the partial name of the file to add, [<] to cancel
>
```

<

```
Please choose from following:
================================
1. Archive Files
2. View selected files
3. Start upload and Exit
4. View transfer Status
Please enter your choice [x] to Exit:
```

2

```
1 : Firepower-Module1_08_04_2025_13_17_50.tar

Please choose from following:
================================
1. Archive Files
2. View selected files
3. Start upload and Exit
4. View transfer Status

Please enter your choice [x] to Exit:
```

3

Transfer of Firepower-Module1_08_04_2025_13_17_50.tar started.

```
Firepower-module1>
Firepower-module1>
Firepower-module1> ß
```

Shift + ~

```
telnet> quit
Connection closed.

firepower /ssa #
```

connect local-mgmt

```
firepower(local-mgmt)#
```

dir workspace:/bladelog/blade-1/

```
1 152828400 Aug 04 13:26:35 2025
```

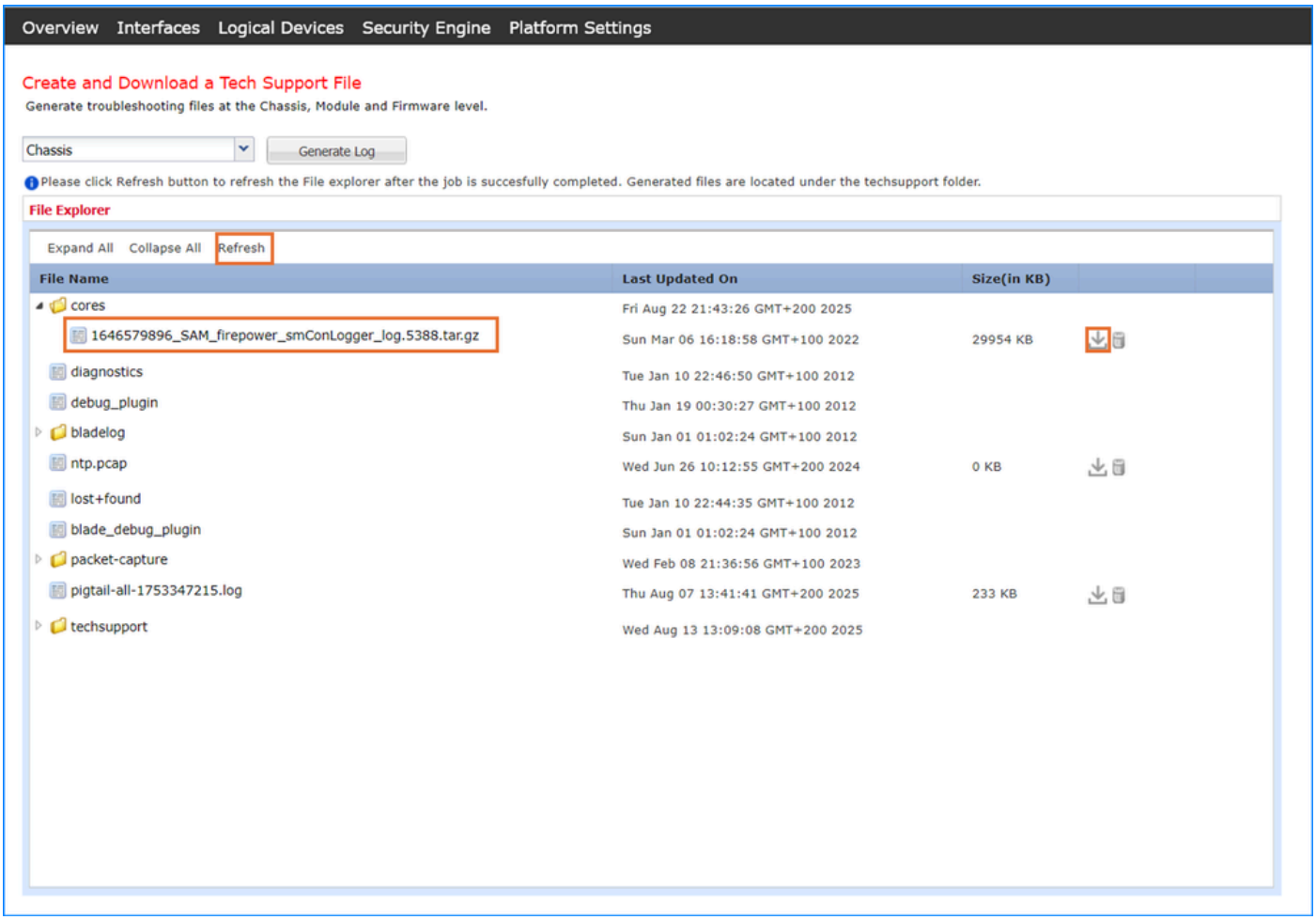
Firepower-Module1_08_04_2025_13_17_50.tar

Firepower 4100および9300シャーシ

1. FXOS local-mgmt CLIを使用してコアファイルを収集します。

```
<#root>

firepower#

connect local-mgmt


firepower(local-mgmt)#

dir workspace:/cores


1 30673335 Mar 06 16:18:58 2022

1646579896_SAM_firepower-1_smConLogger_log.5388.tar.gz


firepower(local-mgmt)#

copy workspace:/cores/1646579896_SAM_firepower-1_smConLogger_log.5388.tar.gz ?


  ftp:        Dest File URI
  http:       Dest File URI
  https:      Dest File URI
  scp:        Dest File URI
  sftp:       Dest File URI
  tftp:       Dest File URI
  usbdrive:   Dest File URI
  volatile:   Dest File URI
  workspace:  Dest File URI
```

2. あるいは、Tools > Troubleshooting Logsの順に選択して、FCM UIからファイルを収集します。Refreshをクリックして、ファイルディレクトリビューを更新し、コアファイルの横のダウンロードアイコンを表示します。



参考資料

- Firepowerソフトウェアのバージョンの確認
- Firepower、インスタンス、アベイラビリティ、スケーラビリティの設定の確認
- Firepowerファイル生成手順のトラブルシューティング
- ASAコマンドリファレンス

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。